

令和元年度消防本部所管決算書歳出の概要

(単位：円)

区 分	支出済額		比 較	
	令和元年度	平成30年度	差額	割合
消 防 費	976,631,534	793,879,715	182,751,819	23.02%
01 常備消防費	919,075,629	742,813,376	176,262,253	23.73%
一般職人件費	669,800,395	660,040,010	9,760,385	1.48%
消防事務費	4,329,276	3,842,111	487,165	12.68%
消防・救急活動費	32,947,076	30,967,010	1,980,066	6.39%
職員研修費	4,971,223	4,663,095	308,128	6.61%
消防庁舎管理費	13,421,431	13,549,661	△ 128,230	△0.95%
消防庁舎等整備事業	184,560,465	22,148,800	162,411,665	733.28%
消防車両管理費	9,045,763	7,602,689	1,443,074	18.98%
02 非常備消防費	17,537,620	17,470,589	67,031	0.38%
消防団員活動費	15,960,207	15,475,302	484,905	3.13%
消防団施設管理費	467,997	962,260	△ 494,263	△51.36%
消防団車両管理費	1,109,416	1,033,027	76,389	7.39%
03 消防施設費	8,261,635	3,262,684	4,998,951	153.22%
消火栓等維持管理費	424,368	364,602	59,766	16.39%
消火栓等整備事業	7,837,267	2,898,082	4,939,185	170.43%
04 水防費	704,000	704,000	0	0.0%
05 災害対策費	31,052,650	29,629,066	1,423,584	4.8%
一般会計歳出合計	23,900,571,568	23,119,525,726	781,045,842	3.38%
消防費の割合	4.09%	3.43%		0.65%

(単位：円)

29 年度	消防費の支出済額合計	771,108,719	=	消防費の割合
	一般会計歳出の支出済額合計	22,828,031,697		3.38%
28 年度	消防費の支出済額合計	760,484,363	=	消防費の割合
	一般会計歳出の支出済額合計	23,288,400,518		3.27%

令和元年度消防 主要事業費の概要

○常備消防費—消防・救急活動費

事業概要	決算額 (円)
・委託料 消防緊急通信指令施設保守委託料	11,150,700
・使用料及び賃借料 消防緊急通信システム借上料	2,799,360

○常備消防費—消防庁舎等整備事業

事業概要	決算額 (円)
・委託料 消防署塚越分署指令端末装置移設	2,484,000
消防署塚越分署仮設事務所移設	237,600
消防署塚越分署敷地測量等	618,601
消防署塚越分署建設工事監理	11,416,184
・工事請負費 消防署塚越分署建設	152,333,000
消防署塚越分署解体	15,984,000

○非常備消防費—消防団員活動費

事業概要	決算額 (円)
・報酬 消防団員報酬	4,316,666
・報償費 退職報償金 (5名)	2,143,000
・需用費 ゴム長靴※防火服用 (70足)	710,640

※ 退職報償金は、消防団長の退団につき例年より増(金額は階級と勤続年数により異なる)。

※ ゴム長靴は、経年劣化を考慮し、入団後5年が経過した消防団員に支給。

○非常備消防費—消防団施設管理費

事業概要	決算額 (円)
・需用費 待機所エアコン修繕 (第5分団)	190,080

※ エアコンの冷房効果が得られなくなってしまったため交換修繕を行う。

災害に強いまちづくりの推進 新しい消防署塚越分署完成



施設の概要／【ところ】塚越 4-1-6 【構造】鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 【新設備】防火水槽・非常用自家発電設備・女性用仮眠室・多目的トイレ・屋上視認標示・訓練用放水壁・除染室 など



塚越分署を現在地建替え 耐震性有した防災拠点に

消防隊員が6人体制で365日常駐しているほか、消防団・第1分団の詰め所でもある消防署塚越分署。消防車2台と救急車1台が配備されており、昨年の出動件数は2048件と、市内全体の約40%を占めるなど塚越・南町地区の防災拠点として大きな役割を担っています。

そんな塚越分署は昭和50年

耐震化整備のため、建替え工事を進めてきた消防署塚越分署が、先月25日から供用を開始しました。ここでは、新分署の概要や先月23日の開署式の様子を紹介します。

の建設から40年以上が経過し、耐震化整備や老朽化対策が必要となったことから、平成29年度に「建替基本計画」を策定。現在地での建替えに向け、昨年5月から分署機能を一時的に市民公園管理棟内へ移転し、解体・建設工事を進めてきました。そして今年7月末に工事は完了。先月25日から供用を開始しました。

限られた敷地を有効活用 必要機能を備えた新分署

新分署は地上3階建ての鉄筋コンクリート造一部鉄骨造で、延べ床面積は580・06平方メートル、旧分署の2倍以上です。また、建物の外観は、蕨の伝統織物である双子織をモチーフにしたデザインとなっています。

非常用自家発電設備、女性用仮眠室、多目的トイレ、屋上視認標示などを新設したほか、シャッターの自動化や資器材を積み下ろしする電動フックの配備などにより、より迅速に出動することが可能です。感染症対策では、血液や嘔吐物などが付着した器具等を適切に清掃できるよう、車庫内に除染室を設けています。このほかにも、訓練用放水壁や屋内進入が可能なバルコニーの設置などにより、さまざまな訓練を実施することができるようになりました。

市では今後とも、「防災都市・蕨」の実現に向け、消防救急・防災対策を更に充実させ、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

問い合わせ〓消防本部総務課
(☎441・0117)



▲「建物の外観は双子織をモチーフにしています」との説明に耳を傾ける二人



よしだ こうせい
吉田 城政 さん
(東小学校4年)

たかつと みなと
高津戸 海友 さん
(東小学校4年)

新しくなった塚越分署を 児童リポーターが 先取り取材！

リポーターに挑戦したのは、塚越分署の近くに住む吉田城政さんと高津戸海友さんの仲よしコンビ。消防本部の後藤壮志副主任から話を聞きました。

Point①防災拠点となる消防庁舎

地域の防災拠点として、じゅうぶんな耐震性能を有するとともに、停電時にも業務が継続できるよう、非常用自家発電設備を設置。また、消火用の水として、敷地内には40立方メートルの防火水槽を設けています。



～取材後の感想～

設備が新しく
頼もしいです



自動でシャッターを開けたり、重い物も電動フックで積み込みできるので、緊急時にすぐ駆けつけてくれそう。とても頼もしく感じました。



Point②多様化する災害に対応可

施設は多種多様化する災害に迅速・的確に対応できる職員動線を重視した構造に。車庫内に除染室を設けたほか、500メートルでつり下げられる電動フックにより水害時の救命ボートも素早く準備することができます。

訓練する場所や非常時の設備など、見どころがたくさんありました。将来は消防職員になって、災害のときに地域の人の力になりたいです。

将来は自分も
消防職員に！



Point③訓練が実施できる施設に

放水壁を設置したことでスタンドパイプで放水訓練ができるようになりました。また、バルコニーや屋外階段も訓練で利用できる構造になっています。このほか、空きスペースにはトレーニング器具を備えています。



8月23日に塚越分署の開署式を開催



近隣住民の皆さんも見守るなか、塚越分署の開署式が行われました。テープカットで幕を上げた式典では、消防団・第1分団による放水訓練を実施。新たな防災拠点の誕生に、参加した23人は期待に胸を膨らませていました。



1 目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とする。

2 防火標語（令和2年度全国統一防火標語）

「 その火事を 防ぐあなたに 金メダル 」

3 実施期間

令和2年11月9日（月）から11月15日（日）までの7日間

4 本予防運動中の重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- (3) 放火火災防止対策の推進
- (4) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (5) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進

5 蕨市において実施する内容

- (1) 放火防止対策を広報する。
- (2) 蕨駅・消防庁舎に火災予防横断幕・懸垂幕を掲げる
- (3) 蕨駅みどりの窓口に防火ポスター入選作品を展示する
- (4) 蕨駅・大型店舗等に電光掲示板や放送による広報をする
- (5) 防災無線により広報する
- (6) 消防車両・消防団車両・危険物運搬車両にマグネットシートを貼付し、
消防車両・消防団車両にて適宜広報する
- (7) 広報わらびに火災予防啓発文を掲載する
- (8) ホームページにて住宅用火災警報器の普及啓発する
- (9) わらびケーブルテレビにて火災予防運動を周知する
- (10) 別紙 住宅防火「いのちを守る7つのポイント」を活用し広報する

6 車両広報時の新型コロナ感染防止対策について

- (1) マスク着用をお願いします。
- (2) 車内の換気を実施してください。
- (3) 乗車人員は4名以内をお願いします。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント —3つの習慣・4つの対策—

3つの習慣

- **寝たばこ**は、絶対やめる。
- **ストーブ**は、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- **ガスこんろ**などのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

消防委員の参加行事予定について

1 埼玉県消防協会蕨戸田支部消防特別点検

(中止)

2 蕨市消防歳末特別警戒及び市長巡視

(中止) ※消防本部及び消防団は、期間中に広報活動を実施します。

3 蕨市消防出初式

(中止)

4 文化財防火デー消防訓練

(延期) ※令和3年度に実施予定（通常は隔年で実施しています）。

5 蕨市消防団家族交流会

(中止)

6 第2回蕨市消防委員会

日 時 令和2年2月下旬

場 所 消防本部3階講堂

蕨市消防委員会委員名簿

令和2年9月1日現在・敬称略

職 名	氏 名	備 考
1号委員（学識経験者）	やま ざき てつ 山 崎 徹	副委員長
”	おか だ まさ のぶ 岡 田 正 信	
”	やま ぐち たけ よし 山 口 武 義	
”	ぬま ぐち よし こ 沼 口 美 子	
2号委員（市議会議員）	こ ぼやし り き 小 林 利 規	委員長
”	まえ かわ やすえ 前 川 やすえ	
”	たけ した りょう 武 下 涼	

※委員の任期は、令和元年9月1日から令和3年8月31日までの2年間

蕨市消防 本部・消防署 職員名簿

(消 防 本 部)

令和2年4月1日現在

職 名	氏 名	備 考
消 防 長	の ざき よし とも 野 崎 好 伴	
総 務 課 長	すず き けい いち 鈴 木 経 一	
予 防 課 長	こ ぼやし じゅん 小 林 順	
総務課長補佐	かわ べ ユカリ 川 邊 ユカリ	
総務課長補佐	おか にわ まさ とし 岡 庭 雅 俊	

(消 防 署)

職 名	氏 名	備 考
消 防 署 長	おお た さかえ 太 田 栄	
第 1 中 隊 長	よこ やま よし はる 横 山 義 治	
第 2 中 隊 長	はかま だ きょう た 袴 田 恭 太	
第 1 中 隊 副 中 隊 長	いち の せ りゅうじろう 市 瀬 龍 次 郎	
第 1 中 隊 副 中 隊 長	やまの い やす お 山 野 井 康 夫	
第 2 中 隊 副 中 隊 長	まつ お こう じ 松 尾 幸 治	
第 2 中 隊 副 中 隊 長	あお き やす なり 青 木 靖 也	